

水路水漏れ防止で長寿命化



ペイントでマークした亀裂箇所

多面的機能発揮事業の中の農業施設の水路など環境維持に欠かせない施設について、更新や補修の対象となる「長寿命化」と呼ぶ事業があります。

更新の計画については既に、市に届けていますので、その計画に従って実際の事業を進めていきます。今年度の

で3号水路の補修を行うこととしました。

調査の結果ひび割れと確認できる力が150以上ありました。予算に限りがありますのでこれらを全て改修することは難しいので、重要性の高いも

のから実施することになります。

1月29日、該当箇所の清掃と確認作業を行いました。長年の使用でコケに覆われているものも汚れを掻き出し、表面の状態を確認、必要な箇所にはペイントでマークをしていきます。

水路の延長が450メートルありますので、その両側ですから倍の900メートルが対象となります。今後は、どの箇所を補修するか、検討しながら作業を進めます。



コケや土砂を取り除いて亀裂の有無を確認する

計画は2号水路(西ノ池水路)の改修でしたが、3号水路の損傷程度がより深刻なので、計画の変更を届けて3号水路(金原水路)の補修に取り組みことにしました。

昨年度1号

水路のひび割

れ補修の状況

が良好なので、同じ工法

火入れ作業でクリーンアップ

農林業には「害虫駆除」などのために「火入れ作業」が認められています。実施には森林法に基づいた届け出を行い「火入許可証」の発行を受けないと実施できません。

当地区の水路のり面については「火入れ作業」の対象となりますので昨年度から実施をしています。昨年は実施日が雨天となり、刈り払い機などの使用での除草作業となりました。

本年は予定日を4日間として、少しの天候の変化にも対応できるように計画しました。実施までは、天気予報をにらみながら予定を考え続け



風向きなどにきをつけながら点火していく

ていましたが、幸い初日の予定日である2月9日に実施できました。

今後も火入れ作業に対してのご理解をお願いいたします。

新しい機械と新たな判断



中央に写っている女性の持っているのが電動ブロワー

農道清掃の最後の部分、西ノ池と金原農道の除草清掃を1月29日に行いました。

刈り払い機などで除草をしますが、除草残滓の処理にはほうき等を使用していました。今回から風力で吹き飛ばしてしまうブロワーを導入しました。従来はエンジン式の重く音の大きなものが主流でしたが、現在はリチウムイオンバッテリー式の電動タイプが出てきましたので、購入しました。軽量で使いやすいので、どなたでも使えます。音も静かなので周りの状況を考える必要が少なくて済みます。

ゴミの吹き飛ばす方向の安全確保は言うまでもありません。

また除草作業についての共通理解として「路側にはびこるコケ」については除去しないこととしました。これを取ろうとするとアスファルトの継ぎ目に入り込んでしまうために、アスファルト自身を傷めてしまうことが多いこと、コケのあるところには雑草が生えにくいということも分かりました。寒さの厳しい季節の農道除草作業、大変ご苦労様でした。こうした寒い時期の作業が、春以降の農道の状況にかなり良い影響があります。

浸水対策工事が始まった

10数年来の要望だった八方原地区浸水対策工事が始まりました。2月19日、仮設道路と土砂の仮置き場の工事が開始されました。

今回の工事は山口市嘉川大原の塩田建設株式会社が落札されました。着工前に入念な打ち合わせを行い、今回の工事に関する要望事項についても全て実施する約束ができました。

業者の話では、今回揚水ポンプの直ぐ側を掘削するため細心の注意を払って影響を最小限に収めることも分かり



△借用した圃場に臨時的な土砂置き場が設置
県道沿いに立てられた工事用看板



交通事情なども考えないと地元への影響も少ないと考えています。コンクリート2次製品の出来上がりの関係もあり、竣工予定は4月中旬と思われまます。しっかりと見守っていきましょう。

ました。

今回掘削して移動させる土砂は約300立法メートルであると説明を受けました。重量にすると7000から800トンになると思われます。それを長い距離移動させることより、一時的に傍の仮置き場に置くことの方が、

どこに居ても輝ける

山口市秋穂二島のセミナーパークでは毎年2月に「人づくり・地域づくりフォーラム」を開催しています。

今年で第17回となりますが、毎回全国各地から先進的な取り組みをされている団体に出会うことができます。

今年も様々な団体に出会うことができましたが、最終日のシンポジウムで印象的だった発言がありましたので、



高校生の話し合いも

ご紹介させていただきます。高知県の土佐山アカデミーという相当に便利な山間部で活躍している人と、

田布施町馬島という離島でキャンプ場を運営しているご夫婦の話の中で、「私たちが田舎に引っ込んでいると見ないで欲しい。」という言葉がありました。それぞれが自分の住む場所として誇りを持っていることが分かりました。私たちこそ、肝に銘じておく必要があるなと思った言葉でした。

八方原自治会の総会（役員人事）
令和5年3月5日 午後7時より
八方原公民館大ホール